Janis

e-fitClean 施工説明書

イー フィット クリン

FP252 08.10

施工される前に

●この施工説明書をよく読み、正しく施工してください。

施工された後に

●不具合確認のため、必ず試運転を行ってください。

●本施工説明書と取扱説明書は、お客様にお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

安全のために守ってください

●ここでは施工に際して守って頂かないと、人身事故や家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。
施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

用語および記号の説明

警告……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ ……「注意しなさい!」(上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

⃠ ……「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)

❗ ……「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

⚠ 警 告

⃠ 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※故障や感電、火災を起こす恐れがあります。

⚠ 注 意

⃠ バスルーム等の水のかかる所や湿気の多い場所では、使用しないでください。
※故障や感電を起こす恐れがあります。

⃠ 交流100V以外では使用しないでください。
※故障や感電を起こす恐れがあります。

⃠ 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、束ねたり、重いものを載せたりしないでください。
※コードが破損し、火災や感電を起こす恐れがあります。

❗ 陶器は割れものです。破損や割れがないことを確かめてください。
※ケガや漏水を起こす恐れがあります。

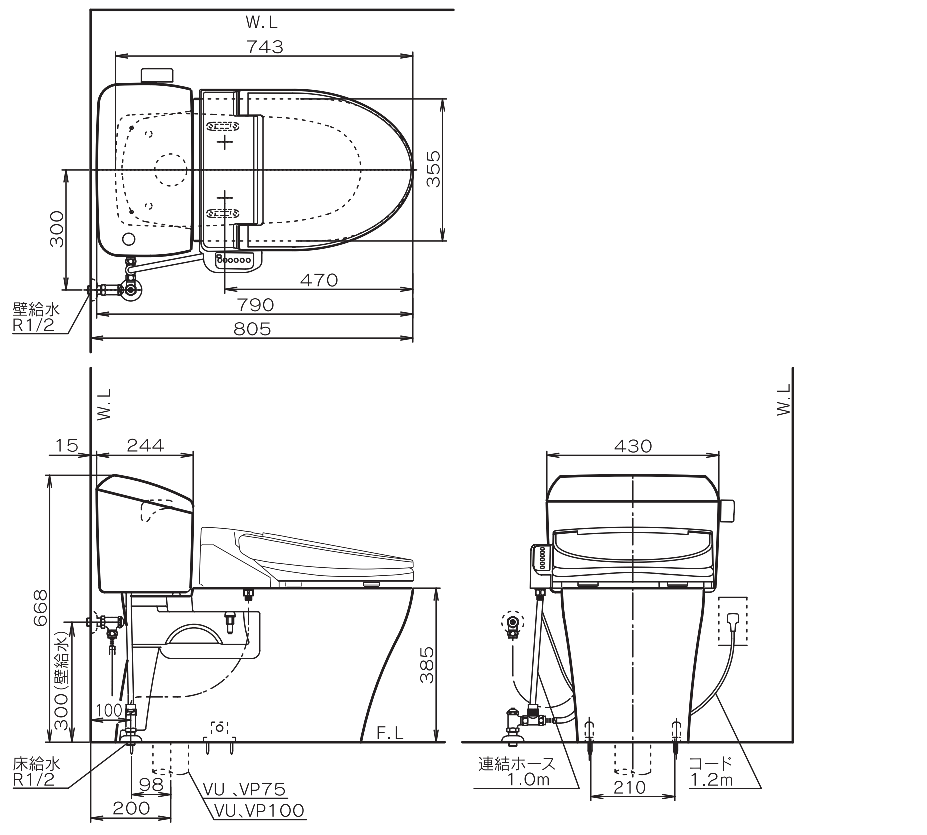
❗ 止水栓の調整と施工後の漏水点検を、必ず行ってください。
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

❗ お客様にお渡しする前までに、凍結が予想される場合は、水抜きをしてください。
※破損による漏水で、家財等を濡らす恐れがあります。

お 願 い

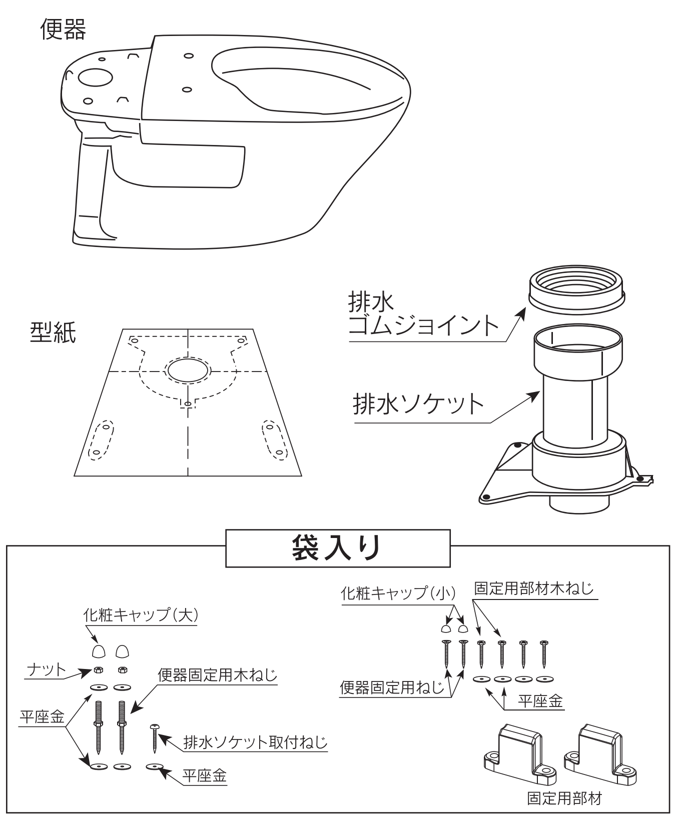
●清掃を行う際には、酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコール等の溶剤や油類を使用しないでください。
※変色や変形の恐れがあります。(溶剤がつきますと跡が残ることがあります。)

施工寸法図

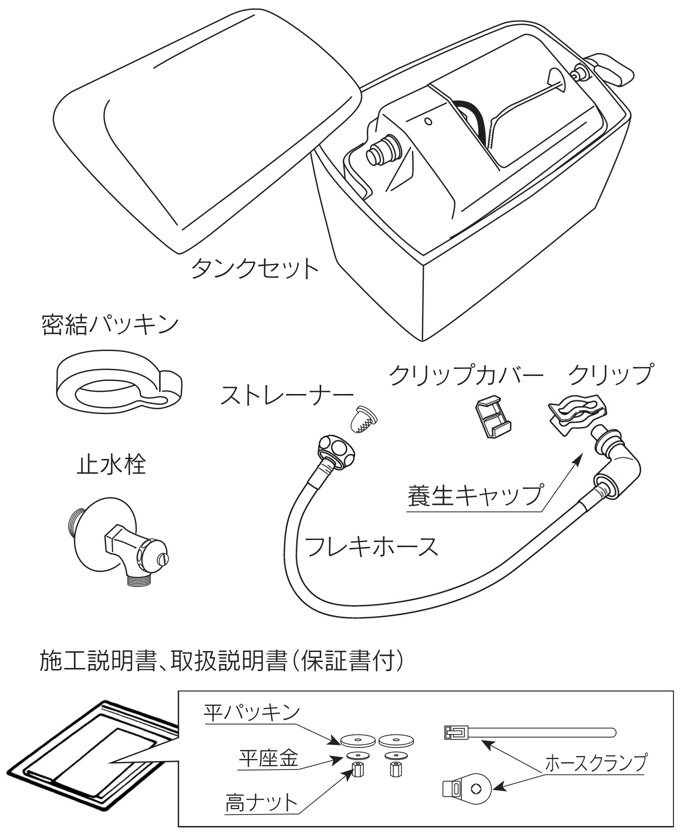


部品の確認(梱包内容を確認してください)

便器セットに同梱



タンクセットに同梱



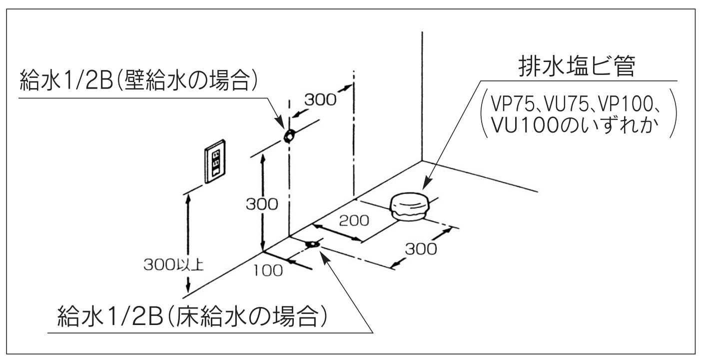
ジャニス工業株式会社

本 社 〒479-8577 愛知県常滑市唐崎町2丁目88番地 ☎<0569>35-3151

施工手順

1 給排水の位置決めと取出し

●下図に従って給水管、排水管を取出します。

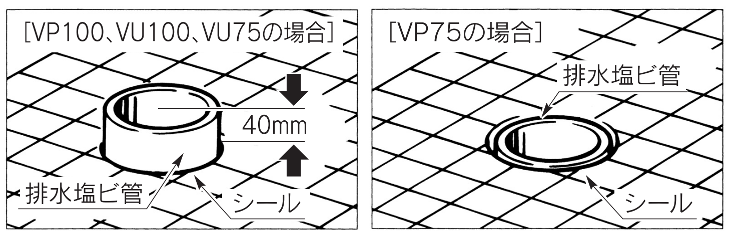


お願い

●便器を取付けるまで、異物が入らないよう、給水管にはプラグを、排水管には、ビニール袋等でカバーをしてください。

2 排水塩ビ管の切断

●壁、床の仕上げ完了後、排水塩ビ管を切断します。
※切断位置はVP75の場合は床仕上げ面で、VU/VP100およびVU75の場合は床仕上げ面より+40mmで切断してください。

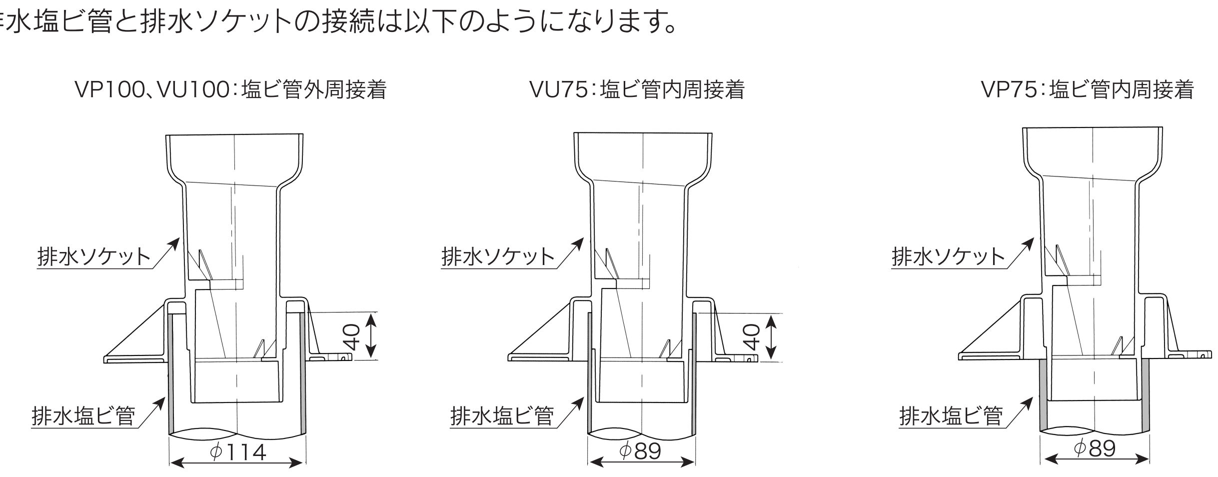


お願い

●切断面は床と平行になるように切断してください。
※切断位置が正確でないと、漏水や臭気発生の原因となります。

●床下への漏水防止のため、床と排水管のすき間を、シールしてください。

●排水塩ビ管と排水ソケットの接続は以下のようになります。



お願い

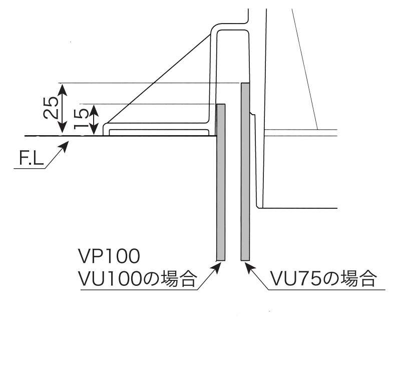
●排水ソケットを接着する前に排水塩ビ管との勘合具合を確認してください。
※すき間、ガタがある場合は、コーキング剤を使用してシール接着します。
※はまりにくい場合は、右図の様に塩ビ管取出し高さをカット調整します。
VU75の場合は床仕上面から25mm。VP/VU100の場合は床仕上面から15mmを下限として調整してください。

●接着部は、きれいにしてから作業を行ってください。

●接着には、市販の塩ビ接着剤を使用してください。

●接着は確実に行ってください。
※接着が不十分ですと、漏水や臭気発生の原因になります。

塩ビ管の調整

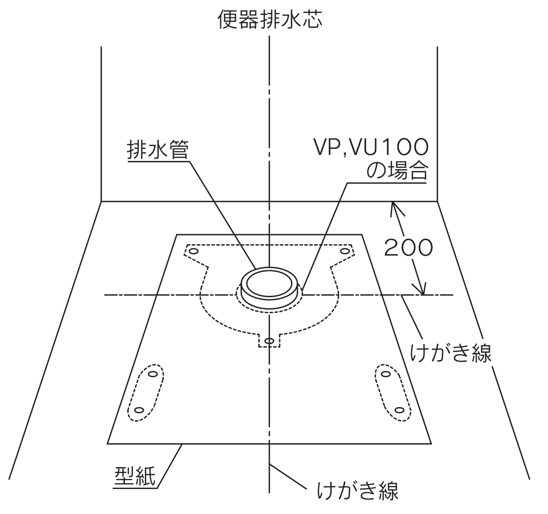


3 便器フランジ、固定部材の位置決め

(1)便器排水芯の中心線をけがいておいてください。

(2)便器排水芯に型紙を入れ、排水ソケット固定位置、固定用部材取付位置をけがいてください。

【ワンポイント】
ねじの下穴をφ4~4.5のキリであけておくと、④での作業がしやすくなります。



お願い

●VP,VU100の場合、ミシン目より切り抜いてお使いください。

●位置決め後は、型紙を取り除いてください。

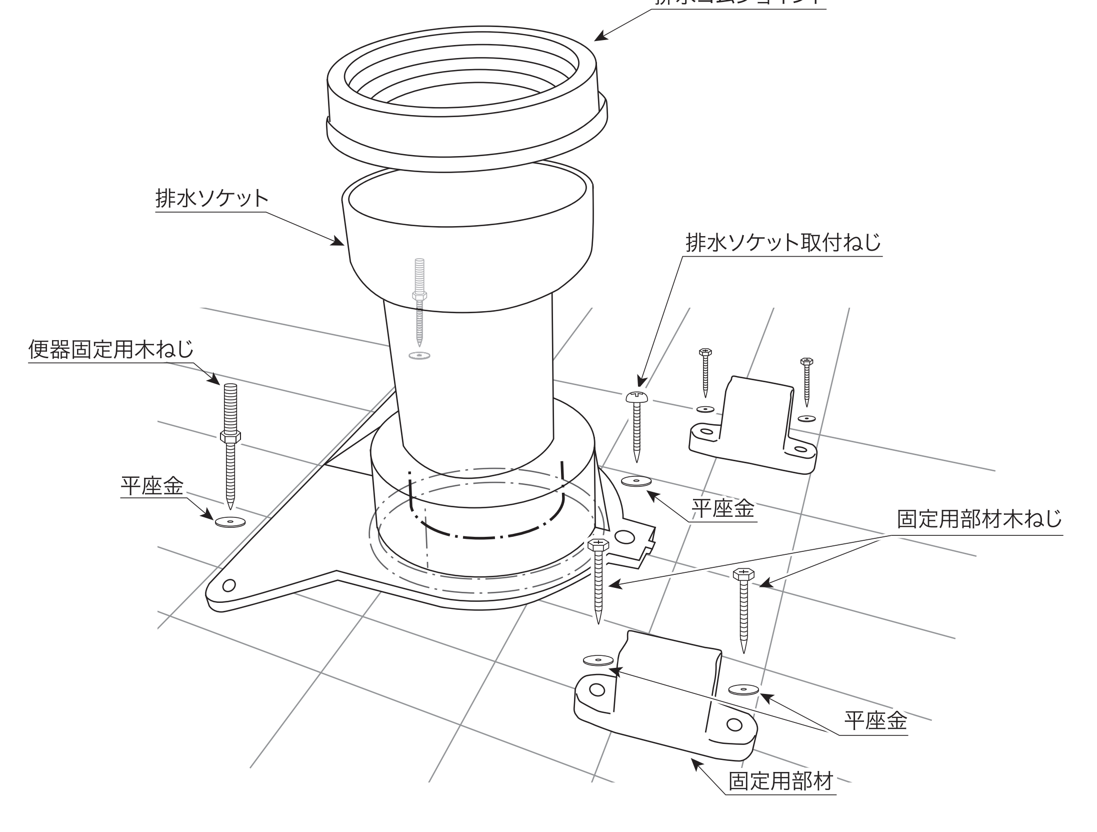
4 排水ソケット・固定部材の取付け

(1) 排水ソケットと排水塩ビ管の接着部をきれいにし、両方に塩ビ管用接着剤を塗って接着します。
●排水ソケットは便器施工芯に対し、平行となるように取付けてください。
●排水ソケットのフランジ部が床面に着くまで、しっかり差し込んでください。

(2) 便器固定用木ねじと取付ねじで排水ソケットを床に固定します。
●床がタイルやコンクリートの場合、市販のPYプラグを使用してください。

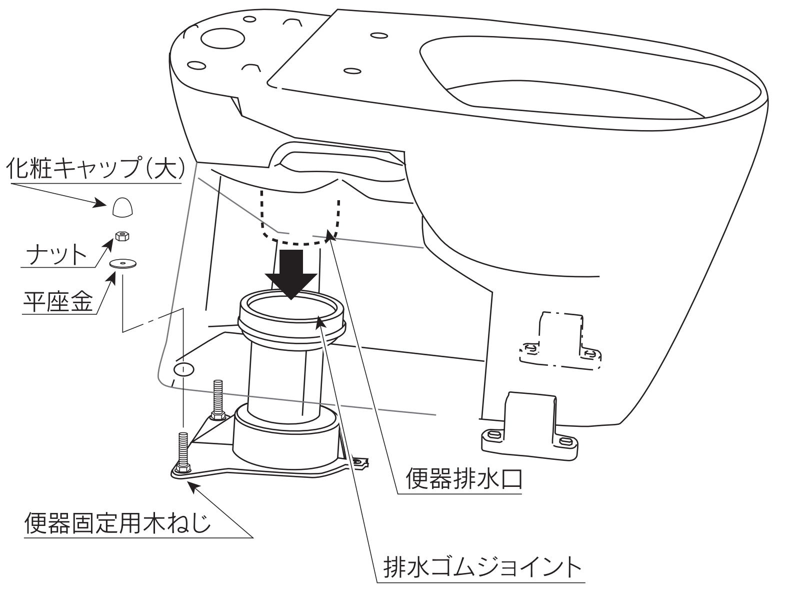
(3) 排水ゴムジョイントを、排水ソケットにかぶせ、しっかり押し込みながら取付けします。

(4) 固定用部材を木ねじで固定します。
●床がタイルやコンクリートの場合、市販のPYプラグを使用してください。



5 便器の取付け

(1) 便器固定用木ねじをガイドにしながら、便器の排水口を排水ゴムジョイントに差込みます。
(2) 平座金を介し、ナットで便器を固定します。このとき、便器固定用木ねじが、中心になるようにしてください。
(3) 固定後、化粧キャップ(大)を取付けます。
(4) 側面から固定用部材に向けて、便器固定用木ねじで固定します。
(5) 固定後、化粧キャップ(小)を取付けします。



お願い

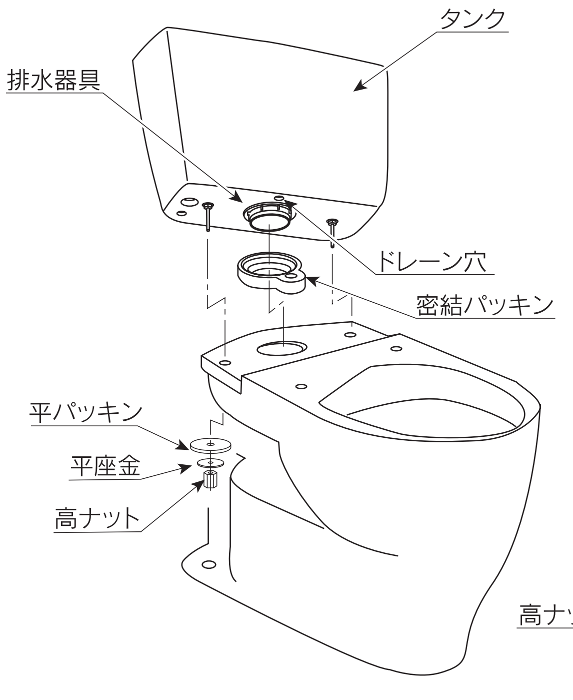
●便器の完全固定は、便器底面と床面のガタおよび施工芯を確認しながら行ってください。
●陶器に対するねじは、締め過ぎないようにしてください。
※陶器が割れる恐れがあります。

6 ロータンクの取付け

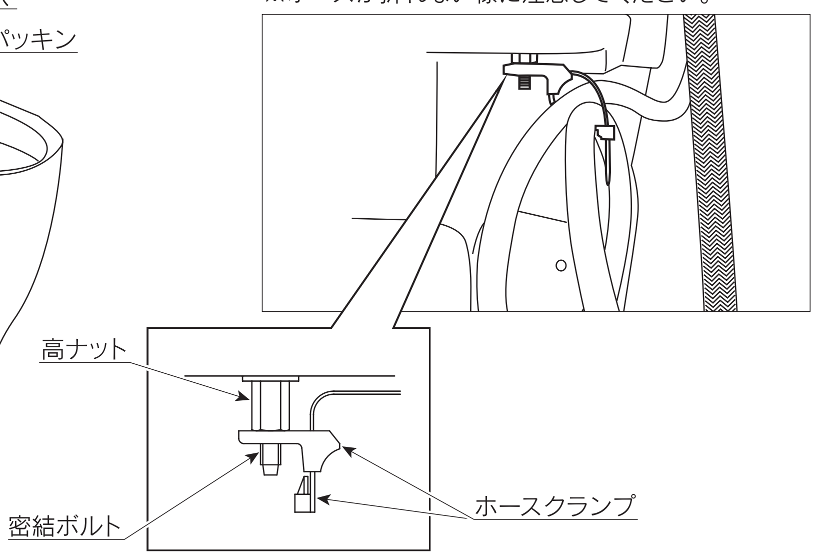
(1) 密結パッキンを排水器具にはめます。
(2) 密結ボルトを便器の取付け穴に差込みます。このとき、密結パッキンがずれたり、はずれたりしないように行ってください。
(3) 便器下方から平パッキン平座金を介してナットで締付けます。

お願い

●密結パッキンはタンクのドレーン穴に合わせてはめてください。
※間違うと漏水の原因になります。
●ナットの締付けは左右交互に行い、タンクの底面が便器に当るまで締めてください。
※片締めは破損や漏水の原因になります。



温水洗浄便座用給水ホースの収まりがよくないときなどは下図のように使用してください。
※ホースが折れない様に注意してください。



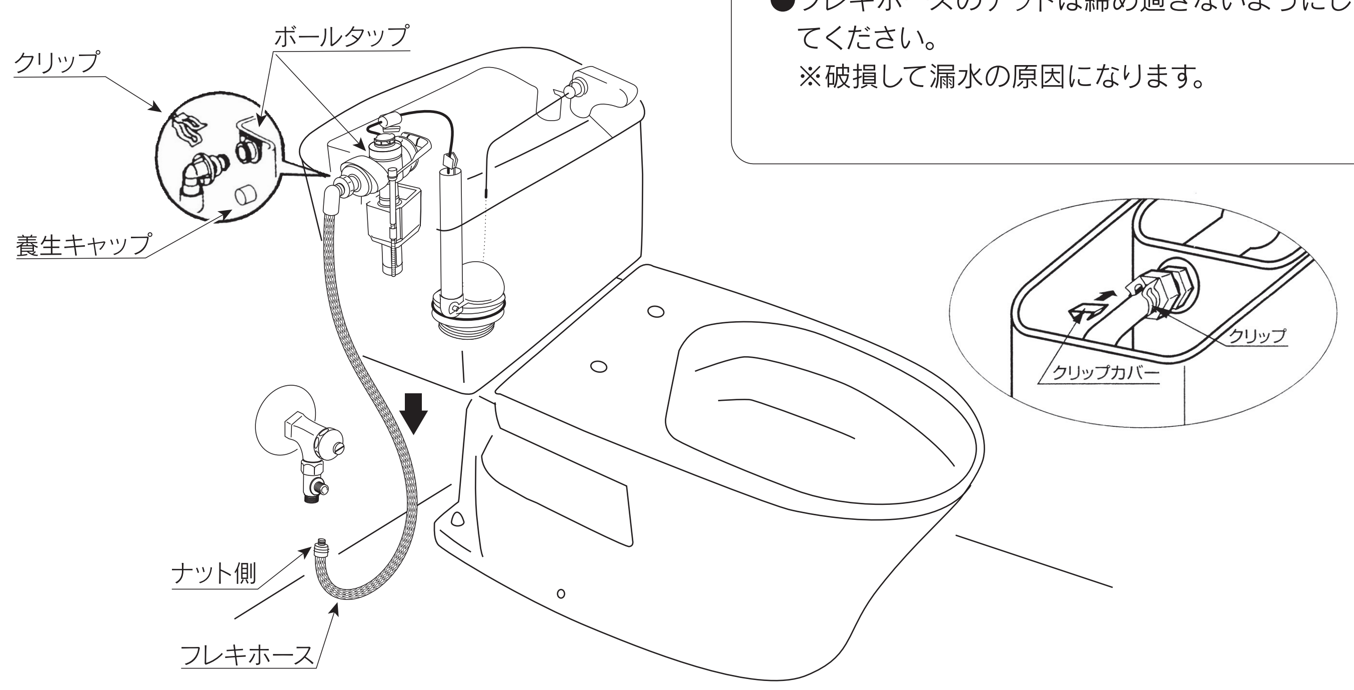
ホースクランプを密結ボルトにはめ込みます。
その後、温水洗浄便座用給水ホースを収めてください。

7 フレキホースと給水管の接続

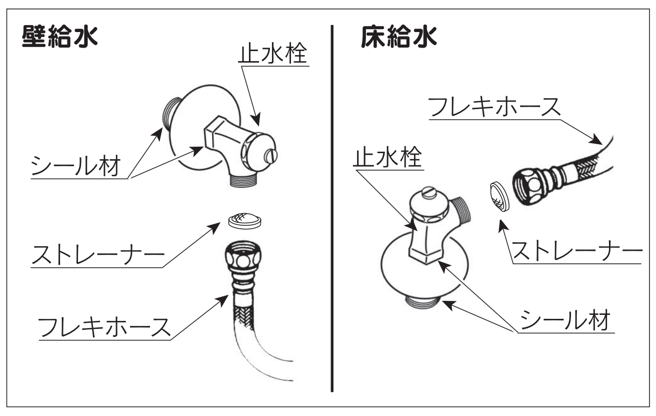
(1) ロータンク内側底面の取出し穴の上方から、フレキホース（ナット側）を通します。
(2) ボールタップ接続側の養生キャップを外し、ボールタップに差込みます。
(3) 付属のクリップでフレキホースとボールタップを固定します。
【ワンポイント】
クリップはクリップカバーの差込口が上方になるようにしておくと、クリップカバーが差込み易くなります。
(4) クリップにクリップカバーを差込みます。
(5) 給水管取出し口に止水栓を取付けます。
(6) パッキンを介して、止水栓に分岐金具を接続します。（温水洗浄便座の場合）
(7) ロータンクから取出したフレキホースをストレーナーを介して、止水栓または分岐金具に接続します。

お願い

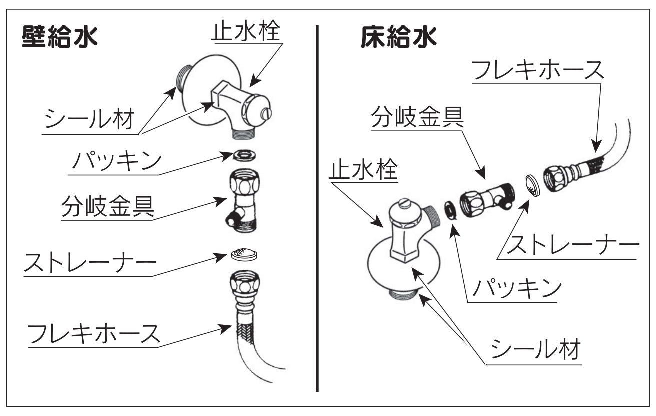
●フレキホースをボールタップへ差込む時に、Oリングを傷めないようにしてください。
※傷めると漏水の原因になります。
●クリップ、クリップカバー、ストレーナーは紛失しないようにしてください。
●クリップが正しく付いたかを確認するため、クリップカバーは必ず取付けてください。
●止水栓のネジ部には、シールテープ等を巻いて取付けしてください。
●ストレーナーは必ず取付けてください。
※異物が入りますと、作動不良や故障の原因になります。
●フレキホースのナットは締め過ぎないようにしてください。
※破損して漏水の原因になります。



普通便座・暖房便座の場合



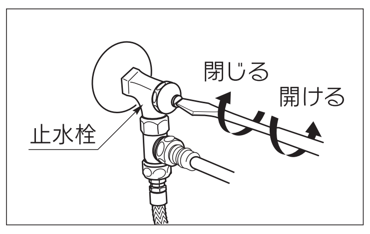
温水洗浄便座の場合



8 調整

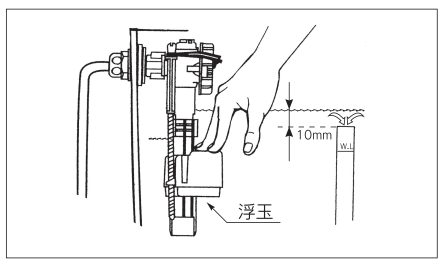
【流水量の調整】

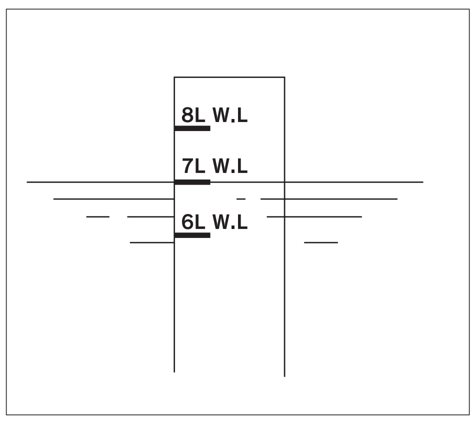
●万一、ボールタップが止水しない場合でもタンクから水があふれないようにするために、次の要領で必ず調整してください。
(1) 止水栓を閉じてください。
(2) ロータンクふたを外してください。
(3) ボールタップの浮玉を押し下げながら、止水栓をゆっくり開きます。
(4) この状態から水面がオーバーフロー管上端より10mm以上上昇しない程度に止水栓の開きを調整します。

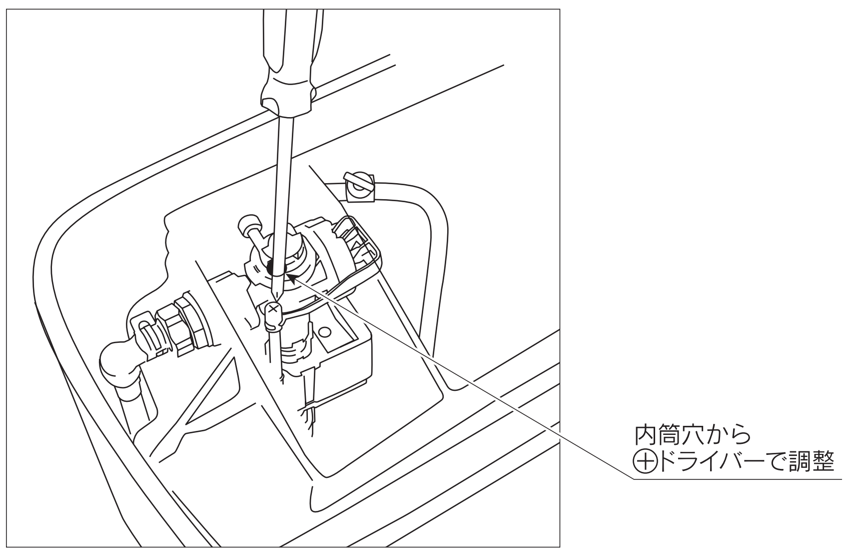


【水位の調整】

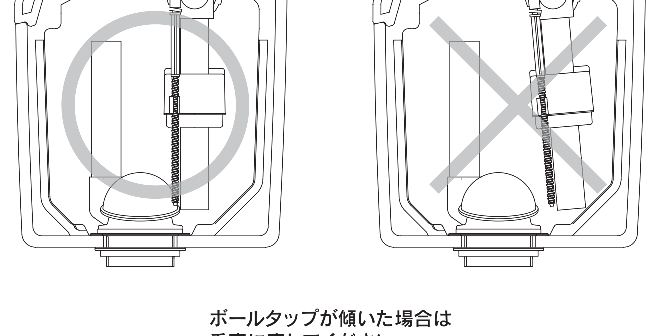
●流水量を調整したあと、タンクに給水し、止水位置がオーバーフロー管に表示されているW.L（標準水位）に合うように、浮玉を上下させて調整してください。
※出荷時のW.Lは約7㍑で設定してあります。
●8㍑未満で調整して使用する場合は所轄官庁の指示に従ってください。
●浮玉の移動方法
浮玉調整支持棒を右に回すと水位が上がり、左に回すと水位が下がります。







注意



お願い

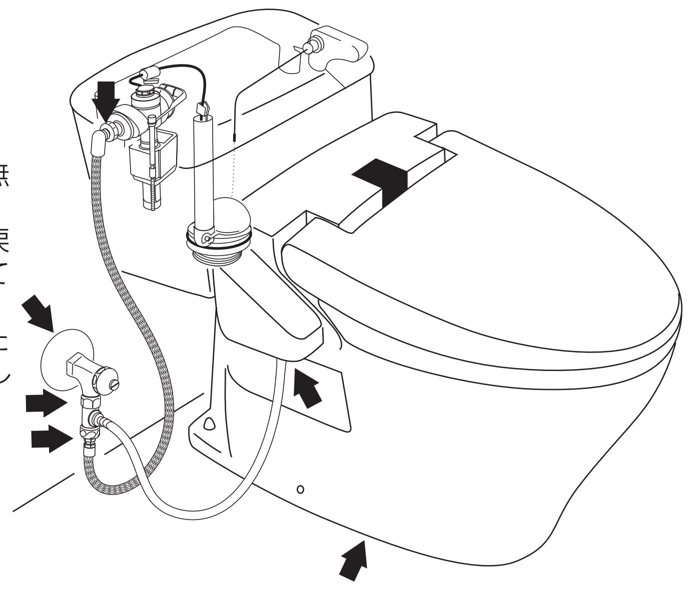
●10確認と点検で、水漏れ確認を行ってください。

9 便座の取付け

●便座を取付ける場合は、それぞれの施工説明書に従って取付けしてください。

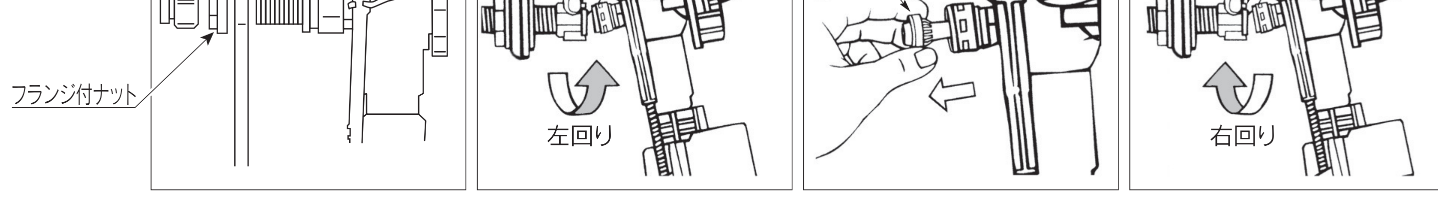
10 確認と点検

●洗浄ハンドルを操作して数回洗浄し、各接続部に漏水が無いことを確認してください。
●フロート弁の開閉、ボールタップの作動、洗浄ハンドルの戻り具合等、ロータンク金具に不具合が無いことを確認してください。
●便器鉢内に長さ約760mmのトイレットペーパーを丸めたものを7個入れ、1回の洗浄ですべて排出することを確認してください。



11 ワンポイント

●水の出が悪い場合
ストレーナーを掃除してください。(7参照)
●タンクへの給水時間が長すぎる場合水圧が低いことが予想されます。
以下の要領で、水量絞りブッシュを取外してください。
(1) 止水栓を閉めます。
(2) タンクからボールタップを外します。（アダプターとフランジ付ナットを取外します）
(3) カプラーをボールタップ本体に対し、左回りに1/8回転して取付け脚部から取外します。
(4) ボールタップ本体の中にある水量絞りブッシュを取出します。
(5) 再びボールタップ本体を取付け脚部にあて、カプラーを右回りにカチッと音がするまで回転させ取付けます。
(6) タンクにボールタップを取付けます。
※作業終了後、ボールタップがまっすぐ取付いていることを確認してください。斜めに取付いている場合は浮玉を上方に持ちあげながら、まっすぐになるようにしてください。
(7) 止水栓を開きます。

お願い

●ブッシュを外す時は、ボールタップを外してください。
●カプラーを回す時にはボールタップ本体を押さえながら行ってください。
●止水栓を動かした場合は、必ず流水量の調整をしてください。